

7/7 零

## 降下訓練を強行

宮城・玉城寺原演習場  
県連絡会が監視

富城県の自衛隊王城  
寺原（おおじょわらじは  
）の演習場＝大和（たゞ  
わ）町、色麻（じかま）  
町、大衡（おおひら）  
町で実施される。米  
軍機が参加する陸上自  
衛隊の降下訓練に対  
し、米軍移転・日本共  
同演習又は富城県連絡  
会合の日、現地で監視  
行動を始めました。  
同訓練は、米空軍機  
からの陸上自衛隊第1空  
挺（くわい）団がバラ  
シュートで降下、物資  
を投下あるいはひづり  
も。の。の日から2日目  
で、日本の自衛隊員と  
のC-130輸送機の機  
を含めた5機と約250  
人が参加し、夜間訓  
練も行つ予定です。陸  
上轄僚監部は6月30日  
という直証まで、実施  
を発表しませんでし  
た。

戦争か平和かが問われる参院選のなかの訓練に対し、県連絡会は「周辺5日、防衛省に「周辺5日」、自治体の対応や住民の心情に配慮しない横暴指摘。「選舉期間中にじく要です」と語りました。

クライナで尊い命が奪われ続けていたのも、われの戦争訓練であり、国國をねじりの表れだ。9条を世界に広めて戦争を起さない努力こそ必要です」と語りました。

戦争か平和かが問われる参院選さなかの訓練に対して県連絡会は、5日、防衛省に「周辺自治体の対応や住民の心情に配慮しない横暴だ」とする要請書を送付。訓練の実態は「日米共同訓練」であり東アジアの軍事緊張をもたらすだけとして、中止を求めています。

色麻町で監視行動をしている県連絡会の佐藤春治事務局長は、ウクライナで尊い命が奪われ続けているもので、われ続けていた政権の戦争訓練であり、国民を軽んじた政権のわがりの表れだ。9条の民や世界の人びとの平和への思いに反すると指摘。「選舉期間中にこんな訓練を行なうのも、國民を軽んじた政権のわがりの表れだ。9条を世界に広めて戦争を起さない努力こそ必要です」と話しました。